

地域にはばたく市民パワー！

ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2010年3月号(第26号)

発行責任者 山田 武

<サークル加入状況報告>

2月5日のサークル紹介・勧誘会において、既存の12サークル及び16期が立ち上げた3サークルの紹介を受けて、皆さんから提出していただいたサークル申込結果がまとまりましたので報告いたします。

[H22.2.28 現在]

区分 サークル名		内 訳			計 (人)
		14 期	15 期	16 期	
既存サークル	ダースの会	26	6	5	37
	アジア研究会	17	3	6	26
	傍聴席	12	5	6	23
	楽悠クラブ	21	10	6	37
	地球環境に学ぶ	8	1	3	12
	地域の自然を考える会	11	2	3	16
	小 計	95	27	29	151
	地域の自然	0	8	0	8
	所沢の自然と農業	0	6	4	10
	歴史散策クラブ	3	22	1	26
	ドラマティック・カンパニー	1	7	1	9
	北欧の会	1	6	0	7
	おたまじゃくしの会	0	18	0	18
	小 計	5	67	6	78
新規サークル	野老澤の歴史をたのしむ会	2	0	21	23
	公園を楽しむ会	2	0	19	21
	葵の会	2	0	10	12
	小 計	6	0	50	56
計	延べサークル加入者数	106	94	85	285
内 訳	未加入者数	9	2	12	23
	単一サークル加入者数	53	49	35	137
	複数サークル加入者数	24	20	21	65
計	倶楽部会員数	86	71	68	225

■約3割(65名)の会員が複数サークルに入会
各期生ともほぼ同数の会員が複数サークルに加入、225名で285名(126%)のサークル活動を展開しているといえます。

■約1割(23名)の会員がサークル未加入
サークルの皆さん、ところざわ倶楽部の理事に声をかけ相談していただきたいと思います。

■益々求められる魅力あるサークル活動
ところざわ倶楽部は、未加入者の皆さんやサークルの悩み・相談にこたえて行きます。

<今年度の全体活動計画&実績>

月・日	内容	場所
H21 11. 19	第3期 定期総会	市民文化センター
H22 2. 6	講演会及び サークル紹介・勧誘	所沢市 保健センター
3. 17	公開講演会	小手指公民館 分館
5.	工場・施設見学会：	
7.	市民大学受講者による 講演会	
9.	日帰りバス旅行	
10.	サークル活動報告会& 親睦会	

- ・詳細日程については確定次第お知らせします。
- ・太枠、網掛け部分は実績を表します。

<3月度 講演会(公開講座)の案内>

■日時：3月17日(水) 13時～15時
受付 12時30分

■場所：小手指公民館分館ホール

■テーマ：藤沢周平の魅力

一生きづらい時代にこそ輝くことばー

■講師：高橋敏夫 早稲田大学大学院教授

★アトラクション；13時～13時20分

倶楽部会員によるオカリナ演奏

<企画に関するアンケート結果>

2月6日(土)のサークル紹介時に行ったアンケート集約結果は下記の通りです。

1. 実施してほしい講演会のジャンル
歴史：38%、外交：17%
文学：17%、芸能：14%
政治・経済：10%、地方自治：3%
2. 参加したい企画について
所沢市内散策：81%、工場見学：68%
ボランティア：53%、バス旅行：48%

■上記結果を参考にして、今後の企画を検討いたします。より楽しい企画を立てて皆様にお知らせいたします。

企画部

「第3期-3回 理事会報告」

日時 平成22年2月8日(月)10:00～12:00

場所 中央公民館

主な内容

■当倶楽部の今後の検討課題について

- ①未加入者のサークル活動加入促進、
- ②現状の連絡責任者による情報伝達、
- ③「広場」のあり方。

④今後、会員が増加した場合の組織と運営方法
理事会で具体的問題点を洗い出して、現行課題
案件は4役で調整し、将来的課題は、問題点に応
じたメンバー構成、審議方法を今後検討する。

■平成22年3月末、旧中央公民館用途は廃止、
その後2年間は貸施設(コミュニティセンターの別館)
としての利用となる。その間の利用方法について

各サークルは、間違いない対応をとること。

■サークル別会員数の確認とサークル補助費の
支給について

「サークル現在員報告書」をサークル代表者に
送付。2月末日現在で3月5日を報告期限とする。
報告書の人数を元に3月のサークル代表者会議で
補助費の支給をする。

■2月6日の講演会とサークル紹介の結果報告に
ついて(速報) 参加者約85名

* 内容評価:「良かった」の評価

サークル紹介100%、講演85%

ドラマティックカンパニー朗読76%。

準備期間が短かった、チラシの作り方は公開講
座が主で、サークル紹介が目立たなかった、伝
達時間がなかった、等の検討課題が残った。

■「広場」配布方法の選択について(2/8 現在)
{メール133+郵送80}+(内夫婦5組)+別途入
手6名=計224名

■生涯学習推進センターとの共催事業の教養講
座について

・「地域の情報とメディアの役割」藤田博司先生43
名受講。

・音楽講座「オペラ」と「ドイツ歌曲」入門 藤田
明 先生60名受講、いずれも評判は良好。

今後の共催事業についてはセンターとの役割分担
倶楽部のメリット等を含め検討する。

＜次回の理事会＞

日時：平成22年3月8日(月)

10:00～12:00

場所：中央公民館2・3号室、

出席者：理事

◇ 市民大学は 今 ◇

17期活動

■2月には「里山の保全と農業」講座が行われま
した。所沢市の「みどり自然課」「農政課」に
よる行政の取り組みと課題、狭山市及び所沢市
の農家の方からの里山保全や安全・安心農業へ
の取り組みを講義していただきました。今回受
講生は、講義を受ける前に「体験学習」として
森林施業や落ち葉掃きを体験して講義を受けた
こともあり、活発な意見交換が出来ました。

本講座により地域の自然や農業に対して地域
住民・消費者としての何らかの実践活動にたが
るキッカケになることを期待しております。

■課外授業

2月19日に受講生の若山さんによる「流行
歌の歴史」～幕末・明治編～をテーマにした課
外授業が行われ好評でした。引き続き大正・昭和
編の開催要望が多く第2弾を計画したい。

3月5日には、受講生の河登さんによる「事
業仕分けを経験して」をテーマに実施しました。
実体験も基づく話で、政府の第2次仕分け間近
かでタイミングも良く好評でした。

■2年次の開催内容は下記の通り。

- ・開催期間：4月2日～10月22日
- ・開催曜日：全講座金曜日開催
- ・講座ごとの応募状況(3月5日現在)
 - ①古典芸能：10名
 - ②音 楽：12名
 - ③メディアと社会：9名
 - ④日本経済：13名
 - ⑤地球環境：8名
 - ⑥地域の自然：7名
 - ⑦所沢の歴史：15名

18期活動

■18期1年次のプログラム&日程が、ほぼ固
まって来ました。

- ・開催期間：H22/6/1～H23/3/15
- ・芸術/文化系、科学/環境系、社会/経済/政治
系、所沢学系共に3講座、合計12講座とし、
特別講座として「介護保険制度」を追加。
- ・開講式特別講演は高橋玄洋先生、所沢市長講
話なども計画しています。

■4月の募集に向けて、広報への掲載記事、ホ
ームページ掲載内容、募集要項作成などを準備
中です。

サークル活動計画

■興味がある活動には、他サークルの方も参加して見ませんか



ダンスの会 (斉藤昌宏 2998-0406)

3/3 (水) 定例会・学習会歌舞伎 DVD「女殺油地獄」鑑賞会

3/24 (水) 本所、深川江戸歌舞伎旧跡を歩く

4/7 (水) 定期総会

4/21 (水) ハイキング・場所未定

地域の自然 (加茂恵三 2944-6554)

3/20 (土) 9~13 年輪測定 早大実験地

3/27 (土) 9~13 樹高調査 早大実験地

4/10 (土) 9~13 午前調査 総会を兼ね昼食会

4/24 (土) 9~15 午前調査
午後セリ摘み・タケノコ堀 【会員募集中】

アジア研究会 (黒見徳美 2995-4290)

3/17 (水) 9時~11時30分 中央公民館

定例会 中国人留学生との対話

ところざわ倶楽部講演会と重複する為時間変更いたしました。

4/21 (水) 定例会

所沢の自然と農業 (都築 2996-1972)

3/9 13:30~15:30 定例会 生涯学習推進セ

3/下旬 清瀬郷土博物館見学と中里緑地・柳瀬川辺
散策 (かたくりと桜)

4/4 「里山の写真展」の開催支援 下富横山農園

4/下旬 出前講座計画中

傍聴席 (高垣輝雄 2926-7164)

3/15 (月) 3月定例会・中央公民館、15時より
議題、本年度活動計画の確認、

「広報ところざわ」3月号を読み意見交換を
しましょう。倶楽部会員の皆さんもご参加を。

4/12 (月) 4月定例会、

歴史散策クラブ (大河原功 2943-2004)

3/13 (土) 勉強会 (中世の所沢)

時間: 9:30 場所: 中央公民館

3/29 (月) 江戸城外濠と城門めぐり

集合: 所沢駅3~4番特急券売場付近 9:30

4/3 (土) 勉強会、4/10 (土) 鎌倉街道

楽悠クラブ (甲田和巳 2924-0172)

3/9 (火) 13:30~ オペラDVD観賞

・場所: 中央公民館2・3号室

・曲目: 歌劇「ヘンゼルとグレーテル」

ドラマティック・カンパニー (梅本 2926-8723)

下記の日程で定例会を行ないます。

3/6 (土)、3/20 (土)、4/3 (土)、4/17 (土)

時間=10:00~正午

場所は現・中央公民館ですが、4月から施設の名称が「コミュニティーセンター分館」に変更されます。

地球環境に学ぶ (塚本二郎 2942-3117)

3/23 (火) 13:30~15:00 中央公民館 6号室

県の出前講座「埼玉の森林・林業」を、“地域の自然を
考える会”と合同。 ■15:00~17:00 定例会

4/20 (火) 定例会 (初めての屋外活動)

「いきものふれあいの里センター」周辺自然環境観察。

北欧の会 (樋口俊夫 090-6483-7993)

3/6 (土) 第11回例会 13時20分

デンマークの歴史 ほか

4/17 (土) 第12回例会 13時20分

場所 中央公民館 会員募集中

地域の自然を考える会 (海老沢 2922-0259)

3/23 (火) 13:30~15:00 中央公民館 6号室

「埼玉の森林・林業」埼玉県出前講座

地球環境に学ぶと合同

4/20 (火) 狭山丘陵のスミレ観賞

いきものふれあいセンター付近 (詳細別途連絡)

おたまじゃくしの会 (岡本 2948-7674)

3/26 (金) 13:00~17:00 中央公民館2・3号室

ピアニスト辻井伸行氏のヴァン・クライバーン

コンクール受賞の模様を中心にDVD鑑賞

4/9 (金) 昭和記念公園ハイキング

公園を楽しむ会（加曾利 2939-2308）

3/27（土）は10時 航空公園駅前集合
公園ツアーと花見を行います。

4/22（木）9時30分 花小金井駅集合
小金井公園散策と江戸東京たてもの園見学

■今後の定例会は第4木曜日に変更しました。

野老澤の歴史をたのしむ会（嶋崎 2948-7331）

3/26（金）所沢市旧町の歴史探訪をボランティア
ガイドさんの案内で実施します。

集合場所・時間・その他詳細は別途
会員あてに連絡します。

私たちのサークル活動紹介

「公園を楽しむ会」

結成母体は16期「都市の環境」グループです。

- 1、特別会員は安藤聡彦埼玉大学教授です。
- 2、現在の会員数は21名です。
- 3、活動日は第4木曜日です。歴史の会と同じ日だったので変更しました。
- 4、年会費は1000円（無料とていましたが経費が発生する為会員の意思で決めました）
- 5、活動拠点：生涯学習推進センター
状況に応じて、ところ荘など使います。
- 6、行事について
 - 1）公園散策
 - 2）安藤先生や学生との交流会
 - 3）航空公園でオカリナを習う
 - 4）県政出前講座
 - 5）所沢の古い写真と現在の比較
 - 6）航空公園100選をつくる
 - 7）鉄道の跡地やSLについて調べる
- 7、具体的な展開
 - 1）航空記念公園ツアー：今回は3月27日（土）に会として参加します。ついでに花見をします。皆さんも参加しませんか
10時航空公園駅前集合（航空公園ツアーは毎月第4土曜日です）
 - 2）小金井公園・江戸東京たてもの園
4月22日（木）9時30分
西武新宿線花小金井駅改札出口集合
 - 3）県政出前講座
「埼玉の自然 動物・植物・地質」を計画（県立自然博物館）
 - 4）所沢の古い写真（何処でしょう）

■連絡先

加曾利 厚雄

2939-2308

**葵の会（池田新八郎 2940-0711）**

3/3（水）、10日、17日 午前10時より

吾妻公民館 教養講座

古典文学に親しむ「土佐日記」に参加

3/11（木）午後1時30分～

総会（新加入者参加）

＜事業部活動と今後の予定＞**■サークル代表者会議の開催について**

昨年度までは、3ヶ月に1回程度理事会兼サークル代表者会議を開催してきましたが、理事会議題に時間を取られてしまい、サークル活動についての意見集約、情報交換を行う機会が持てなかったことを反省し、今年度は理事会とは別個にサークル代表者会議を開催することにしました。

開催要領は以下のとおりです。

- ・日 時：3月30日（火）10時～12時
- ・場 所：生涯学習推進センター 会議室101
- ・出席者：サークル代表者及び理事
（サークル代表者が出席出来ない場合は、必ず代理の方が出席して下さい）

・会議の内容

- ① サークル補助金の交付
- ② 入会状況について
- ③ 各サークルの課題と方向について
- ④ サークル活動の発表方法について
- ⑤ サークル間の交流について
- ⑥ その他情報交換

この会議に対するご意見、提案等のある方は、何なりと出席メンバーにお伝え下さい。

**■生涯学習推進センターとの
共催事業について**

1～2月に二つの市民教養講座を共催事業として「試行的に」実施したが、関与した3サークルから状況を聴取し、その結果をもとに、今後の方向性をセンター側と協議して行く方針です。

誰でも・何でも掲示板

■皆さんの投稿をお待ちしています。

－ 所沢の旬の花・自然 －

『ヒメザゼンソウ』

「傍聴席」 高垣 輝雄

2月、真冬の時期だが、埼玉地方は20度のポカポカ陽気。暖かい気候に誘われ、妻と散歩に出る。我が家から狭山湖周遊道路に向う。青い空に舞う鳥をオオタカかと思い双眼鏡で見ると、ノスリのような。2羽楽しげに大空を飛んでいる。恋の季節か。

狭山湖は東京都の水瓶、多摩川の水を羽村から地下トンネルにて狭山湖、多摩湖に導水貯水している。周囲に自然が沢山残り地域の人々の楽しみの一つになっている。桜の木が多く春には見事な眺めを提供してくれる。

弁当を持ち、10時すぎより往復15キロ程の散歩、木々も葉を落とし、小鳥の探索にも最適な季節となった。狭山湖湖畔を過ぎ周遊道路にはいると、残念ながらモーター街が続く。それを過ぎると全くの自然に囲まれる。車も人も少なく、散歩道は早稲田大学を過ぎてアスファルト舗装も終わり、砂利道となる。また暫くいくと西久保湿地への細い道となり、落ち葉を踏みしめながらの快適な散歩道に変わる。目的の『さいたま緑の森博物館』まで、雑木林の中を暖かい太陽を浴びながら進む。昨年見た『ヒメザゼンソウ』群生地は森の博物館の目の前にある。館内に入り係員の話聞く。『ヒメザゼンソウ』は3月末頃落葉を押し上げ若葉が芽を出す。やがて6月、小さな紫の苞に包まれてすごく小さな白い花が咲く。苞の高さは3センチ程度、有名な尾瀬のミスバショウの仲間かと思われる。是非一度御覧下さい。

車の方は、県道所沢青梅線より博物館前に駐車場あり。6月に天気に恵まれたら西武球場前駅から

徒歩15キロ程度。気持ちの良いウォーキングの後にこの花に会えます。



特別会員からのメッセージ

地域メディアを市民の手で！

17期 メディアと社会講座担当

藤田博司

先日の市民教養講座「地域情報とメディアの役割」でパネル討論の司会をしたあと、あらためて地域報道について考えました。

地域の情報をいまままで通り、新聞や放送（マスメディア）に頼っていていいのだろうか、と。パネルに参加

してもらった新聞、放送の代表も、マスメディアによる地域ニュースの報道には限界があることを認めていました。であれば、市民が新しいメディアをつくることも一つの選択肢ではないでしょうか。

インターネットが普及したいまは、市民も簡単に情報を発信できる装置を手にあります。有志が集まってブログサイトを立ち上げ、身近な情報を発信することから始められる。ところざわ倶楽部の有志による「傍聴席」は、市議会の傍聴を通じて地域情報の伝達に新しい突破口を開こうとする、一つの先駆的な試みでしょう。

新聞の衰退著しい米国では、地域情報の取材、報道を仕事とするNPOが各地に生まれています。そのほとんどがインターネットを足場に発信しています。彼らを支えているのは主として民間の財団や地元企業、市民からの寄付、それにニュースの購読料などです。規模は小さくても信頼される仕事をする人たちがおり、他方にそれを評価し必要とする市民があれば、

所沢でも「地域報道NPO」を生みだすことは夢ではありません。



『忠敬談話室』

井上靖子

昨年9月の「佐原街並みめぐり」の当日、講師として参加された所沢市在住で伊能家直系の井上靖子さん（六代目伊能康之助氏長女）により、伊能忠敬研究会誌の『忠敬談話室』に掲載された記事を紹介します。（一部省略させて頂きました）

去る9月15日、所沢市民大学修了者の会のバス2台を連ねての佐原バスツアーが催され



ました。その際講師として妹・伊能陽子が招かれていたのですが、あいにく体調を崩し急遽87歳の私にお鉢が回ってきました。妹は気の毒がってあれこれ資料を用意してくれました。用意してあった妹の「ご縁がありまして・・・」の原稿と忠敬の家訓（そのまま）に訳文をつけたものを全員にお渡ししました。「ご縁がありまして・・・」には、母の遺言にはじまる初期の記念館落成の様子、佐原での祖母の説明（来訪者への）の日々、包み紙として無造作に扱ってあった地図の下書きの話、下書きなど読み解く難しさの為、古文者の勉強を始めた話など記した一文でした。更に一寸した話題にと忠敬が養子に入った頃のこと、伊能七家こと、次々と他界された四人の妻のこと、又伊能家の当主としての役目の中でも一つ天明の大飢饉の時の臨機応変の乗り切り方など、話題を更に追加してくれました。それに加えて、私が子供のころ、外地から夏休みに帰ってきた折は、見学者

が見えるとソレッと祖母の手伝いに駆け出し、広げる地図を下で支えたり、芳名録に署名を頂くための墨磨りを神妙にしたり、見学者が帰られると量程車や羅針盤を床の間に戻したりした思い出もお話ししました。佐原に入ってから街並み案内人の吉田さんと新井さんがバトンタッチして下さり、館内は吉田さんがマイク片手に張り切って説明されていました。記念館では豊田館長さんはじめ青木氏、紺野氏とも親しくご挨拶をさせて頂きました。ジャージャー橋では忠敬の歩測70センチと同じ歩数で渡れるかと、皆さんはしゃいでおられました。旧宅も各々ゆっくり廻られ、薪倉、炭小屋、味噌倉、つるべ井戸のあった話など折々まぜて一緒に廻りました。私にとりましては、お盆の真っ最中ここで長男の誕生（しかも終戦記念日に）を得たことも懐かしく、戦後地方に出た折、主人のみ東京へ戻り家族は保留となったため、親子三人祖母の世話になり、祖母が次男を背負い危うく小野川に落ちそうになったこと。長男が三輪車ごと柳の下の水路の橋から落ちたことなど走馬灯の様に思い出されました。その後、小野川沿いの散策・買い物を経てバスで観福寺へ。忠敬の墓参、観福寺の立派さにも感嘆の声をあげて居られました。お陰さまで私も祖父母・父母・忠敬に久々に線香を手向ける幸せも得られました。皆さん満足して後、一路所沢へと戻りました。とても陽子さんの替わりは務まりませんでした。皆さん満足して下さった様でいささかほっとした一日でありました。

■当日体調が悪く参加できなかった伊能陽子さんが1月25日に亡くなられました。（合掌）

文芸コーナー



「むさし野俳句同好会」

代表 海老澤愛之助

昨年十月に発足した俳句同好会も初心者講座を終え、「むさし野俳句会」として句会を行う運びとなりました。

会員は、二十五名です。講師は、十四期の鈴木征子・鈴木すぐる先生にお願い致しております。

両先生は、所沢市俳句連盟のリーダー役として又俳人協会等で活躍されております。

本会は、市民大学の現役、修了生、又市民大学に関わりのある人に門戸を広げて良き仲間を作っていきたいと思います。

次号からは、句会で発表された佳句を二・三句づつ発表させて頂き簡単な感想文も併せてこのコーナーに掲出させて頂きます。

今後、文芸コーナーとして川柳やエッセーも発表する場にしたいと思っておりますので投稿頂きたいと思っております。

